

本気が楽しい、人生をハッスルプレー※ SHIGAのバスケットを盛り上げたい

アマチュアバスケットボールチーム LAKE BLUE



「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 2025」をきっかけに、アマチュア日本一を目標に掲げ、夢に挑み続けるチームを取材しました。
男子近畿SB2リーグでプレーする社会人バスケットボールチーム「LAKE BLUE」の選手は13人。選手やスタッフの市民もたくさんいます。市民体育館で行われた9月19日、20日の試合は、地元湖国の声援を受けて連勝しました。

市民体育館で行われた試合(白いユニフォームがLAKE BLUE)



守山北中学校の体育館でバスケット教室



試合後にファンと交流

滋賀のバスケットを強くしたい
国スポのレガシーチーム

社会人バスケットボールチーム「LAKE BLUE」は、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 2025」出場を目指す強化選手が集まって3年前に結成しました。

令和7年のSHIGA国スポでは初戦敗退となり、悔しい結果に終わりました。

滋賀県には、小・中・高校の各年代に優れた選手が数多くいます。しかし、成長の過程で県外へ進学・就職する選手も多いのが現状です。守山市民でスタッフの南谷友紀さんは、「滋賀のバスケットボールをさらに強くしたい」「一度県外に出た選手が、大人になって滋賀に戻り、再び滋賀のバスケットボールで活躍できる環境をつくりたい」と考え、それを実現するための受け皿として「LAKE BLUE」を発展させていきたいと考えています。

ファンや企業の応援に応えたい
仕事も地域貢献も全力で

「アマチュア日本一」を目標に

※バスケットボールでは、泥くさく全力でプレーすることを意味します。

掲げる「LAKE BLUE」の選手の平均年齢は25歳。選手は皆、仕事を持つ社会人です。仕事が終わった後に週3日練習して、週末に試合をします。今はまだ「夢」かもしれませんが、大人が大きな目標を目指して、いつか実現してやろうと本気で挑み続けています。

バスケットボールは激しい攻防の迫力が魅力。仕事と本気のバスケットを両立するのは簡単ではありませんが、夢を追いかけ、本気の思いを「応援しよう」と試合を観戦してくれるファン、スポンサーになってくれた勤務先、滋賀のバスケットボールを盛り上げたい願いに共感してくれる企業もあります。

応援してくれる企業やファンの存在は、チームと選手にとって夢へ向かう力になります。同時に、応援に応えたいという思いと責任が生まれました。そこで始まったのが「県内の小・中・高校でバスケット教室を開く」取り組みです。5月には市内の中学校でも行われました。

夢はアマチュア日本一
本気で挑むから楽しい

滋賀県には「滋賀レイクス」と

私たちの試合を観戦しに来てください(市民選手のコメント)

池田 丈太郎さん 25歳
183cm ポジション:F
チームの主将



北村 雄太朗さん 24歳
194cm ポジション:PF
守山生まれ、守山育ち



坂井 隼さん 33歳
195cm ポジション:PF
元Bリーグプレイヤー



いうプロバスケットチームがあります。昨シーズン後にプロを引退した坂井隼さんが、今シーズン、チームの一員になりました。「LAKE BLUE」が、プロ選手の第2のバスケット人生の受け皿になれるチームに成長したこと、これは「滋賀のバスケットボールを盛り上げたい」願い

への大きな一歩です。
「LAKE BLUE」は、男子近畿SB2リーグ8チームの中で現在3位。9月に市民体育館で行われた2連戦でも連勝しました。アマチュア日本一という夢への道のりは、まだ半ばですが、選手とスタッフは「アマチュアリーグの試合を見に来てくれ

る、たくさんの応援に応えたい。しんどくても本気で挑むから楽しいです」と話していました。湖国の人たちに「プロはレイクス、アマチュアはLAKE BLUE、滋賀のバスケットが面白い」と言ってもらえる未来のためにも、目指す夢は日本一です。

国スポ選手を目指し、福岡県から守山に移り住んで3年目になります。地元と似ているところもあって、とても住みやすいまちです。
高さのあるライバルが多いので、ディフェンス面の課題はありますが、チームも選手の年齢も若いので、テンポの早い展開が持味です。
アマチュアでは滋賀県トップの自信がありますが、チームが目指すは日本一。ホームゲームを見に来た皆さん来てくれたら、モチベーションも上がります。

守山北中学校出身です。大学時代に滋賀県を離れたことで、余計に地元の良さを感じています。故郷に戻って夢中でバスケットができることがとてもうれしいです。
高校の時に全国大会出場を果たしたのに、コロナ禍でダメだった。大学バスケットでは試合に出る機会が少なかった。アマチュア日本一を目指すと目標は、自分にとってのリベンジでもあります。地元守山の人が見に来てくれたら、僕のテンションも上がります。応援よろしくお願いします。

Bリーグの滋賀レイクスを引退して、10年のプロ選手として積み上げてきたものを、次の世代に渡したいと思い、LAKE BLUEに来ました。
守山は住みやすいまちですね。それに、滋賀県は、頑張っている人を応援しようという空気があると思います。
高校の時には、バスケットが嫌いだと思っていましたが、やればやるほど夢中になっている自分がいました。ゴール下の攻防と迫力、名アシストの臨場感が観戦の魅力です。